

令和7年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立北糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・季節ごとに生き物の観察を行ったり、アサガオやトマトなど身近な植物を育てる活動を行ったりすることで、動植物に関心をもち、意欲的にかかわることができた。また、植物の成長を感じながら命の大切さにも気付くことができた。
- ・観察して気付いたことを文章で表すときには国語科で学んだ観察の視点やメモの取り方を生かし、書くことができた。
- ・学校探検など、1年生と2年生の交流する活動を通して、2年生は、自分たちでできるようになったこと、役割が増えたことなどを自覚し、行動することができるようになった。1年生は、学校の施設のようすや学校生活を支えてくれる人々や友達を知り、関わっていくことができた。
- ・町の人へのインタビューを通して地域の良さに気付き、自分の暮らしている地域に愛着をもつことができた。

(2) 課題

- ・観察をしながら、成長する過程を感じることができたものの、植物によって種の撒き方や苗の植え方に違いがあることや、野菜の様子にあった育て方を考えることができなかったため、動植物により深く寄り添って考えられるようにしたい。
- ・観察して気付いたことを「大きさ・色・長さ」については書くことができたものの、比較して書くなど、より細かな表現ができていなかったため、書き方をしっかりと指導していく必要がある。
- ・町探検や公園で遊ぶ活動を通して、公共の場所での行動について考えることができたが、実際に安全で適切な行動をとれるようにしたい。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・1年間を振り返り、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどを理解し、よさを伸ばしていくことができるようにする。 ・四季の変化に気付き、植物や生き物の様子の変化していることを感じながら楽しむことができるようにする。	・「大きさ」「形」「色」「手触り」など具体的な観察の視点を与え、変化に気付き、自然と関わるができるようにする。 ・校庭の遊具や自然との関わり方を考えながら楽しく安全に遊ぶことができるようにする。 ・見たものだけでなく、気付いたことや発見したこと、予想や考えなど細かく表現できるように指導していくようにする。	・新しい1年生に喜んでもらえるように意欲的に活動しようとしている。 ・児童の思いや願いを生かした活動を設定し、児童が主体的に学習できるようにする。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・上級生になった自分たちが1年生のためにできることがあることに気付き、計画したり、交流したりすることができるようにする。 ・生き物の特徴、変化や成長の様	・1年生がどんな気持ちになってほしいかを考え、工夫して準備をする。 ・季節や自然に目を向けさせ、生き物の成長には一定の決まりがあることに気付き、考えられるようにする。 - また、それぞれの野菜に合った育て	・2年生として、これからも頑張りたいことややってみようとしている。 ・季節の野菜や生き物を育てるうえで、野菜の様子に合った育

子を、国語の学習と合わせながら具体的に書くことができるようにする。	方を考えて育てていくようにする。 ・「だれのために」「何のために」という相手意識や目的を明確にして、分かりやすい発表ができるよう、伝え方を工夫できるようにする。	て方を調べ、実践しようとする。 ・これからも町の人や場所とすすんで関わり、自分の生活を楽しくしようとする。 ・一人一人が達成感を味わえる活動を取り入れる。体験活動を通して、主体的に行動できるようにする。
--	---	---